



日耳鼻医会

FAXニュース

平成26年8月4日発行 第217号

「中四国フォーラムin倉敷」-明日に架ける橋-

会期:平成26年9月14日(日)・15日(月・祝日)

会場:倉敷市芸文感(倉敷市中央1-18-1)

ご挨拶

実行委員長 鈴木徹

中国・四国ブロック共同開催の最初の地として地理的關係、交通、観光、会場などの条件から倉敷市を選択しました。講演会場は倉敷市芸文館という公営の立派なコンサートホールです。

講演内容については日耳鼻医会副理事長の阿部先生を中心に鳥取・島根の実行委員の先生方に知恵を出して頂き新しい知見も織り交ぜた内容の濃いプログラムを作りました。いずれも翌日からの診療に役立つ内容となっております。

市民公開講座は近時問題にされているPM2.5に関して新進気鋭の研究者に解説して頂きます。

懇親会は赤煉瓦で有名な倉敷アイビースクエアの一角にある広い会場です。昔の町並みの残る美観地区、大原美術館もすぐそばに位置しております。またJR倉敷駅の北側の旧倉敷チボリ公園跡地には三井アウトレットパーク、イトーヨーカ堂アリオ倉敷のショッピングモールもあり、敬老の日の連休をご家族・従業員の皆様にも十分楽しんで頂けるものと思います。

多数でのご参加をこころよりお待ち申し上げます。

■病院の携帯使用 緩和へ 待合室OK

総務省、厚労省や携帯電話会社でつくる協議会は21日までに病院や診療所でのスマホを含む携帯電話の使用ルールを見直す指針案をまとめた。医療機関内の原則使用禁止を改め、待合室や病室(個室)などは使用を認める。携帯電話や医療機器の性能が高まり、携帯が発する電波の影響が小さくなったことに対応する。8月中にも全国の医療機関に指針を示す。

新指針案は手術室、ICU、検査室は生命維持管理装置など影響が起きた場合の危険が高いため使用禁止とし、電源も切る。診察室はメールの受信は可能にした。

日経新聞7月22日

■内視鏡に2本の腕 がん細胞つかみ切除
オリンパスは胃や大腸などの癌を切り取る2本のロボットアームを備えた内視鏡を開発する。3年後をめどに実用化を目指す。実用化に当たっては価格を1千~2千万円程度に押さえられる見通し。既存の消化器内視鏡は先端に小型カメラと電気メスを備えてがん細胞を焼き切って治療するが正常細胞も傷つけやすいことが課題だった。オリンパスは国との共同開発などを通じて蓄積した技術を生かし、部品を小型化。食道を通りやすいサイズで多関節のロボットアーム開発につなげた。ロボットアームは1本の腕でがん細胞をつかみ、もう1本で切るなど複雑な作業が可能で、正常細胞を傷つけにくくなる。 日経新聞7月25日

■乳児の窒息、上咽頭の観察が盲点

閉塞が改善しても、約1日は経過観察を
日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会は6月11日、「Injury Alert(傷害速報)」として、木製おもちゃ、水風船、ブドウによる乳児の窒息4症例を報告した。うち2例は脳死に相当する状態となり、1例は死亡している。これらの症例に対し、同委員会は疫学や原因の考察、再発防止の対策などを示し、注意を呼び掛けている。

木製おもちゃの誤嚥症例では、単純X線撮影や気管挿管時に異物が確認できなかった。第4病日に脳の状態を評価するために実施した頭部MRIで、上咽頭に異物があると分かった。委員会は「大きな異物であっても、上咽頭に陥入すれば存在に気付きにくいことがあり得る」と指摘。ブドウの誤嚥症例では、気道の完全閉塞が解除された後で陰圧性肺水腫を起こした。委員会は「陰圧性肺水腫の頻度は多くないが、1日程度は経過を観察する必要がある」と解説している。

さらに委員会は、搬送前の対応として、消防本部が1998年に発表した810例のデータを紹介。事故現場にいる人(バイスタンダー)が異物除去を実施した場合、非実施と比較して生存率のオッズ比は3.0で、異物除去が死亡を減少させていた。除去の成功率は6割程度。委員会は、国民に対する一次救命処置の教育に、ハイムリッヒ法や背部叩打法の導入を検討すべきと提言している。

6月17日 m3.com臨床ニュース

■疑義解釈資料(その8)26年7月10日より

(問)胃瘻造設時嚥下機能評価加算の算定に当たって、内視鏡下嚥下機能検査による嚥下機能評価を実施する場合に修了すべき研修の要件はどのようなものか。

(答)ここでいう研修とは、医療関係団体等が主催する5時間以上(休憩時間及び③の演習時間を除く。)の研修であって、内視鏡下嚥下機能評価検査及び摂食機能療法について、10年以上の経験を有する医師が監修を行った、嚥下機能評価及び摂食機能療法のための専門的な知識・技術を有する医師の養成を目的とした研修をいう。その際、講義及び演習により、次のすべての内容を含むものであること。

- ① 嚥下機能及び嚥下障害に係る総論
 - ② 嚥下造影等による嚥下障害の評価・診断方法
 - ③ 内視鏡下嚥下機能評価検査の実施方法。この際、被験者に対して挿入・観察を行う演習を行うこと。なお、被験者については、健常者でも差し支えない。
(施設基準の届出の時点で、D 2 9 9 喉頭ファイバースコピー又はD 2 9 8-2 内視鏡下嚥下機能検査を診療として実施している経験を5年以上有している場合においては、当該演習は省略できる)
 - ④ 内視鏡下嚥下機能評価検査動画を用いた所見評価
 - ⑤ 摂食機能療法(嚥下訓練を含む。)の実施方法
 - ⑥ 摂食機能療法(嚥下訓練を含む。)の効果評価方法
- なお、修了証が交付されるものであることとし、研修の講師のうち、監修者が適当と認められた者については、修了証を交付した上で、研修を受講したとみなせるものとする。

厚労省保険局医療課事務連絡より



GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

アラミスト® 点鼻液27.5µg 56噴霧用

Allermist® 27.5µg 56 metered Nasal Spray

 フルチカゾンフランカルボン酸
エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)

グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先
TEL: 0120-961-007 (9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル FAX: 0120-961-047 (24時間受付)

2010.5

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228
HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail jimu@jenti.or.jp
当会への要望・意見・相談をお寄せ下さい